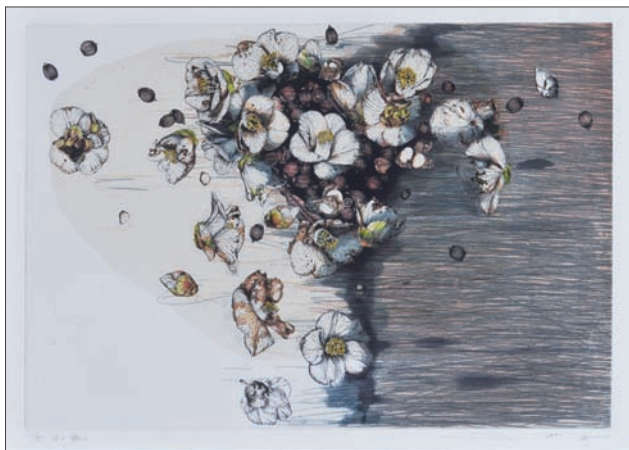


版画史と「私」ー松坂芳助・堀江良一・安藤真司を中心にー



安藤真司 白い誘い 2014年

●会 期 12月15日(土)～2019年 3月3日(日)

※ただし、1月24日(木)、25日(金)は展示替え

会期中の休館日 12月17日、25日、29日～1月3日、7日、15日、21日、28日
2月 4日、12日、18日、25日

●会 場 企画展示室・美術工芸展示室

観覧無料

日夜、自分の版画を作り続ける版画家と、集めた版画を暮らしの中で楽しむ鑑賞者。版画は、それぞれが「私」のものとして向き合い続けることができる美術です。当館では、日本の版画界に名を刻む作家の版画を多く所蔵しており、中でも市ゆかりの版画家・松坂芳助・堀江良一・安藤真司の版画を各々200点以上収蔵しています。二人の作家、二人のコレクターからの寄贈品から約150点を選び、展示します。

forum & event ●日時

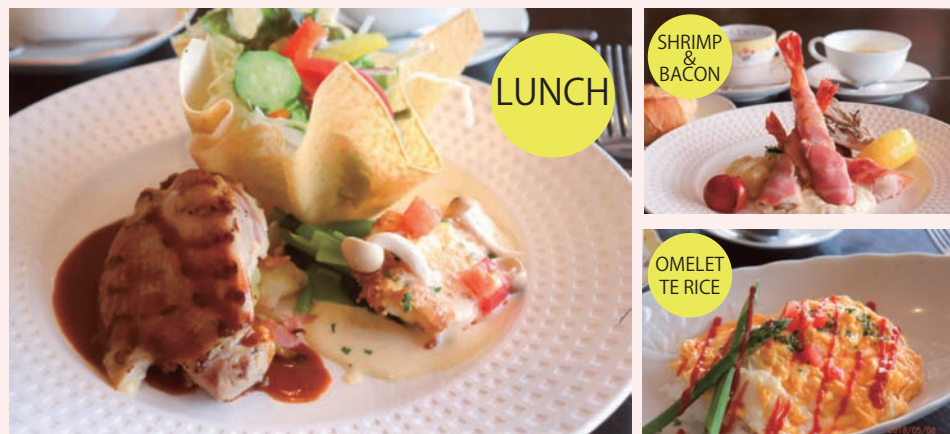
●会場

●内容

ミュージアムフォーラム 「私の版画」	12月16日(日) 14:00～16:00	緑のホール	美濃加茂市ゆかりの版画家三人をお招きします。それぞれの作家が自分の作品について語るスライドトークです。講師:松坂芳助・堀江良一・安藤真司 定員:120名 参加料:無料 申し込み:当日受付(13:30より)
-----------------------	--------------------------	-------	---

2018.09 NEW OPEN!

///cafe ミエル ///



※写真はイメージです

9月から文化の森のカフェが新しくなります。

フレンチのクック経験を生かした店主が作る、おいしい料理が自慢のカフェです♪

サンドイッチかトーストが選ぶことができるお得なモーニングセット(400円～)はもちろん、ランチには『本日のランチ』、『海老のベーコン巻き』、『オムライス』などを予定しています。なおランチメニューにはサラダとスープが付きます♪新しいカフェにぜひお越しください。

(ミエルとはフランス語で「はちみつ」のことです。)

円空仏に会える日



●日 時

9月30日(日) 9:00～17:00

●会 場 エントランスホール

観覧無料

実は美濃加茂市には14点の円空仏があります。その内、文化の森で管理している円空仏を1日限定で特別にご覧いただけます。

MUSEUM NEWS

vol.91

みのかも文化の森

2018年9/15発行

森

森の観察日記 40

ヒナタイノコズチ
(ヒユ科)

日当たりの良い道ばたや空き地などに生える多年草。高さが50から80cmになります。下向きにびっしりとついた「タネ」に「ひっかかり」があり、動物の毛などにはさまって、「タネ」を移動させる、いわゆる「ひつつきむし」の1種です。

※写真は、手前がヒナタイノコズチ

BUNKANOMORI EXHIBITION !

中村 裕太
日本ラインの石、岐阜チョウの道

Japan Rhine Stone, Luehdorfia japonica Line

●会 期 2018. 9.22 sat – 10.28 sun

会期中の休館日 9月25日、10月1日、9日、15日、22日

●会 場 企画展示室・美術工芸展示室、自然観察の森

観覧
無料

美濃加茂市民ミュージアムでは毎年「芸術と自然」をテーマに、現代美術家によるレジデンスプログラムを開催しています。今年度は京都在住の美術家・中村裕太(1983-)を紹介します。

本展では、この地にまつわる2つのストーリーラインが設定されています。ひとつは、1913年に地理学者の志賀重昂(1863-1927)が木曽川に來訪し、「木曽川岸、犬山は全く(ドイツの)ラインの風景そのままなり」と手紙に記したことをきっかけに「日本ライン」と呼称されたこと、もうひとつは1883年に昆虫学者の名和靖(1857-1926)が下呂市金山町で新種のチョウを発見し、後に「岐阜蝶」と命名されたことです。この二つのエピソードを手がかりに、木曽川流域で「石」と「チョウ」を観察することから制作を始めました。

中村は、自らの手で集めた物品や資料を探究しようとする視点と、石やチョウが見ている世界を想像しようとする視点を持ち合わせています。そうした視点をもとに木曽川の自然や暮らしを所蔵資料とともに再構成しようとする制作方法は、博物館という装置に新たな視座を与える試みでもあります。作家の美濃加茂での足跡を辿るように、展示室から森へと道のりが続いています。

撮影:表恒臣

forum & event ●日時

●会場

●内容

ミュージアムトーク
「チョウのように舞う」9月23日(日)
13:00～16:30緑のホール
研修室
企画展示室
美術工芸展示室
自然観察の森

ゲストに小説家の福永信さん(2015年、第5回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞受賞)をお迎えし、〈美濃加茂での足跡をたどるスライドトーク〉、〈展示空間でのギャラリートーク〉、〈1日だけの《日本陶片地図》のコレクショントーク〉、〈自然観察の森でのアフタートーク〉という4部構成でお届けします。
出演:福永信、中村裕太 参加料:無料(申し込み不要/出入り自由)

バスツアー
「石のように転がる」10月13日(土)
13:00～16:30【集合場所】
エントランス
ホール

木曽川や飛騨川から流れつた川石は、河原から拾い上げられ、石垣や石碑、漬物石などに転用されてきました。川石からみえる美濃加茂の暮らしぶりのかつての日本ライン下りのコースに沿って、巡っていくバスツアー。 出演:中村裕太
参加料:無料 事前申込:9月11日(火)～26日(水) 定員:20名

助成:公益社団法人せきしん地域振興協力基金

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

■ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00

(ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00まで)
休 館 日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)
年末年始

■9月・10月・11月・12月の休館日

9月18日、25日 10月1日、9日、15日、22日、29日
11月5日、12日、19日、26日 12月3日、10日、17日、25日、29日～1月3日

■交通

鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由
特急「ひた」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自 動 車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス

JR美濃太田駅北口より乗車(約8分)、「文化の森」下車(12/31～1/2は運休)
文化の森・公園線(平日休日共通ダイヤ・関係のみ)

行き		帰り	
美濃太田駅北口発	文化の森着	文化の森発	美濃太田駅北口着
9:59	10:07	10:25	10:34
11:29	11:37	11:55	12:04
14:28	14:36	14:54	15:03
16:06	16:14	16:32	16:41

運 賃/一般 100円 中学生以下 無料

※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください
http://aiiai-bus.com/

モリ
2018
クリ

文化の森の大好評シーズンイベント。クリスマスにあわせてイベントを開催します。小さなお子様からおとなのお客様まで楽しいひとときをお過ごしください。

展示

11/14^水
～12/24^月 中山尚子が描くクリスマス

瑞浪市在住のイラストレーター中山尚子が1998年以降、手がけ続けている大手菓子メーカーのクリスマス商品の原画とパッケージを展示します。同時にそれらの菓子をミュージアムショップにて販売します。

- 会場 エントランスホール
- 観覧料 無料

12/2^日 アートな一日講座
13:00～16:00 高畠純さんとクリスマスの
ペーパークラフト

絵本作家の高畠純さんのイラストを使いながら、自分のクリスマスのペーパークラフトを作りましょう。高畠さんによる絵本の朗読もあります。(当日12:30より受付)

- 会場 エントランスホール
- 参加料 500円
- 定員 20名
- 持ち物 のり、はさみ



まゆの家まつり

ボランティアのみなさんとちょっと昔の暮らしをみて、遊んで、食べてみませんか？
昔のくらしやあそびを紹介し、伝承料理(鬼まん 他)をふるまいます。ぜひご来場ください。

●日時 10月27日(土) 10:00～15:00

●会場 生活体験館「まゆの家」

参加無料



昨年の様子

同時
開催

文化の森 手づくり市

文化の森の講座から生まれたサークルやボランティアのみなさんが、自分たちの作品の展示や販売を行います。活動の成果をぜひご覧ください。

●時間 10:00～15:00

●会場 エントランスホール



昨年の手づくり市の様子

第22回 朗読フェスティバル

みのかも「声のドラマ」の会、朗読講座受講生の朗読と講師の公演を行います。
会場：緑のホール 共催：みのかも「声のドラマ」の会・美濃加茂市

11月17日(土)
15:00～16:30

受講生の朗読 (入場無料・自由席)

【作品】「三匹のこぶた裁判」 今井雅子 / 原作
「サニーデイ」 奥田英朗 / 作

17:00～18:00

講師の公演 (1,000円・自由席)

戸村美智子・岡 摂子(放送表現教育センター講師)

11月18日(日)
12:30～15:30

受講生の朗読 (入場無料・自由席)

【作品】「東京のバスガール」 あべ美佳 / 作
「器量のぞみ」 宮部みゆき / 作
「ゆきんこ十二郎」 さねとうあきら / 作
「火」 斎藤隆介 / 作
「蜜柑畑」 山本周五郎 / 作 (※当日の出演順は未定です)

16:00～17:00

講師の公演 (1,000円・自由席)

戸村美智子・岡 摂子(放送表現教育センター講師)

※チケットは9月7日(金)より、文化の森で販売します。電話予約可。(0574-28-1110)
※講師の公演作品は両日とも同作品です。



メロデーのない歌があります。

第22回 みのかも「声のドラマ」の会
朗読フェスティバル

日にち／平成30年11月17日(土)・18日(日)

会場／みのかも文化の森 緑のホール

共催：みのかも「声のドラマ」の会・美濃加茂市

第15回 博学連携フォーラム

「作る・感じる・伝える」ことから子どもたちが学ぶもの

今回は、「制作・展示・鑑賞」の活動を公開授業とするとともに、そうした体験を通して、子どもたちが多様な視点や価値観を認めながら、自ら参加し、考え、好奇心が高まっていく学びの場を作るために、博物館や学校ができる役割や可能性を参加者の皆様と考えます。

参加無料

●日 時 10月12日(金) 9:00 (受付開始)～17:00

●内 容 公開授業 … 9:15～14:00 (12:10～13:00 休憩)
【会場 / 森、エントランスホール】フォーラム (講演と意見交流会) … 14:30～17:00
【会場 / 研修室】

※当日受付。どなたでもご参加いただけます。

【公開授業】太田小学校3年生 図画工作「サクサク小刀名人」
「作品をみてもらおう」【講演】演題:「生きている芸術“盆栽”だからできること
一地域とともに、次の100年に向けて」

講師:さいたま市大宮盆栽美術館 学芸員 石田留美子氏

【意見交流会】「作る、感じる、伝える」体験における子どもの学びについて、参加者の皆様と考えます。



私は、4月よりみのかも文化の森で「博物館における学校活用」をテーマに長期研修でお世話になっている三重県総合博物館の大西といいます。さて今年もみのかも文化の森で博学連携フォーラムが行われます。私自身毎年このフォーラムを楽しみにしています。実際今まで何回かこのフォーラムに参加させていただきました。

このフォーラムの大きな魅力の一つに、博物館で生き生きとした学習活動を行う子どもたちに出会えることです。展示物を見学するだけではなく、博物館にある資源(物、人、場所など)を最大限活用して主体的に活動する子どもたちの姿が見られます。

そしてもう一つの魅力は、全国から博物館の学校活用を真剣に考えている博物館関係者に会えることです。子どもたちの生の姿を見て、その姿に対する忌憚のない意見を交流し合える場所というのは、私にとってとても有意義な場所となっています。

最後になりますが、私がいつも感心するのはこの博学連携フォーラムが毎年行われているという点です。今回15回目ということですので15年連続ということになります。これは教師、博物館職員、学芸員、ボランティアの方など様々な方に支えられなければ続けることができません。また、その「人」を支える組織も重要です。その上で毎年このフォーラムの開催が続けられていることはとても素晴らしいことです。今年もこの博学連携フォーラムに参加することが今から楽しみで仕方ありません。

ミュージアムレポート

これまでの博学連携フォーラム

当フォーラムは、より良い活用に向けて、博学連携のあり方、課題の共有、新しい提案など、毎年テーマを設けて、教員、博物館関係者、ボランティア、保護者など、博学連携に関わる方々とともに考える場として、2004(平成16)年から開催、今年度で15回目を迎えます。

これまでに、様々な講師をお迎えし、基調講演をしていただいたり、また、現役教員による実践報告や文化の森の活動報告などを行ったりしてきました。

参加者からは、博物館での体験学習の意義や、博学連携における自分の役割などを改めて考える機会となったとの声をいただいております。(A・H)



2013.1/31
他館学芸員、教員による意見交換会

2017.9/27
他館学芸員による講演



NO.	開催日	テーマ	内容 (公開授業)
1	2004. 10/19 10/20	120センチからみた博物館	博学連携とは何か、基調講演と実践報告から探る。 (山手小4年 社会科「太郎八と郷土の人々」)
2	2005. 10/12	博物館でのまなびとは	社会教育機関としての博物館という視点から考える。 (蜂屋小6年 理科「大地のつくりと変化」)
3	2006. 10/5	「博学連携」文化の森からの提案	学校活用と休日博物館活動のつながり、スバイラルアップを考える。 (太田小4年 社会科「古い道具と昔のくらし」)
4	2007. 10/5	文化の森活用委員会の提案	活用委員(授業者)の視点からの報告。 (蜂屋小6年 理科「大地のつくりと変化」)
5	2008. 10/3	学びを深める、学校、そして休日の博物館	学校での学びを深める博物館の取り組みの報告。 (山之上小6年 理科「大地のつくりと変化」)
6	2009. 10/2	文化の森の活動で子どもたちが感じるもの	6年間の学び(6年生アンケート)の考察、報告。 (蜂屋小4年 社会科「古い道具と昔のくらし」)
7	2010. 10/16	博物館、学校、地域をつなぐ学びのこれまでとこれから	学校、博物館関係者によるパネルディスカッション。【開館10周年】 (山手小4年 社会科「古い道具と昔のくらし」)
8	2011. 10/15	「事前・事後の学習」と「文化の森活用」のつながり考える	授業者からみた文化の森活用の成果と課題を考える。 (下米田小6年 理科「大地のつくりと変化」)
9	2013. 1/31	博物館における多面的な学びの提案～教科や単元をつなげた実践から～	教科と単元をつなげた文化の森活用の成果と課題を考える。 (古井小1年 国語科「たのしいあきいっばい」園工「つないでどんどん」)
10	2013. 10/25	博物館と子ども、ふたつをつなぐ「人」	「人」をテーマに子どもの学びを考える。 (山手小4年 社会科「きょう土を開く」)
11	2014. 12/9	子どもの原体験と大人の関わり	子どもの体験を支えるための大人のふるまいについて考える。 (太田小3年 社会科「古い道具と昔のくらし」)
12	2015. 10/15	活用実践集から読み解く、文化の森での学び	活用実践集の改善シート等から文化の森での学びについて考える。 (蜂屋小6年 理科「大地のつくりと変化」)
13	2016. 11/11	森の中で感じて育つ子どもたち	森をテーマとして、文化の森での子どもたちの学習について考える。 (下米田小1年 生活科「たのしいあきいっばい」園工「つないでどんどん」)
14	2017. 9/27	子どもと「もの」との出会い、体験、その先へ	実物との出会いをテーマに文化の森での体験学習について考える。 (古井小6年 社会科「今に伝わる室町文化」総合「つなぐ世界と」)



事前申し込みについて

はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。

■電話、FAXによる受付は行いません。

■応募者多数の場合は抽選となります。

■右のQRコードからもお申込みできます。→



イベント

minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
～2019. 3/10(日)	ていねいな暮らしと 道具展	民具展示館	無料	—	市民のみなさんから寄贈された道具を展示し、昔の道具から人々の知恵や生活の苦労などを知ります。学校の学習活動とも連携し、体験しながら学びます。
9/15(土) 14:00～15:00	第187回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「長良川」 原田 マノ作 『星がひとつほしいとの祈り』より
9/15(土)、16(日) ①13:00～ ②18:00～ (開場各30分前)	早稲田大学学生 野外劇 「風と共に去りぬ」	芝生広場 ほか (雨天時会場: エントランスホール)	無料	—	早稲田大学演劇倶楽部による野外劇公演です。 演出:小坂井阿門 出演:小又旭(アーバン野蛮人)、亀川ふみか(劇団木霊)、澤あやみ(露と枕)、萩原涼太、平澤健(劇するふわふわ中毒) 他
10/20(土) 14:00～15:00	第188回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「大黒漬」 泡坂妻夫/作 「ミツパチの羽音」 石田衣良/作 『再生』より
10/27(土) ①10:30～ ②13:30～ (各30分前から受付)	森のシネマ館 「ハルフウェイ」	緑のホール	無料	各120名 (小学生以上、 乳幼児不可)	小樽市に住む高校3年生のシュウとヒロが恋愛や進学に悩みながら成長していく姿をつづった青春映画を上映します。 第17回坪内逍遙大賞受賞者の北川悦吏子さん初監督作品。 ※入場には整理券が必要です。整理券は9月11日(火)から、みのかも文化の森で配付します(1人3枚まで) ※当日は託児(有料1人500円)も行います。希望する人は、10月14日(日)までに文化の森へ申し込みください。
10/28(日) 9:00～11:00	きれいにしよう! 公園の彫刻	前平公園 芝生広場	無料	20名	美濃加茂市には彫刻作品がたくさんあります。普段遊んでいる公園にある彫刻を掃除しましょう。【雨天中止】 事前申込:10月2日(火)～18日(木)※当日参加も可能です。
11/14(水)～ 11/25(日) (最終日のみ15:30まで)	第63回 美濃加茂市美術展	企画展示室 美術工芸展示室 ほか	無料	—	市民公募による展覧会です。 日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門にわたり、入賞入選作品を展示します。
11/30(金)～ 12/ 2(日)	美濃加茂市 子ども展	企画展示室 美術工芸展示室 展示ホール	無料	—	市内小中学校の児童・生徒の作品展です。 俳句、書写(硬筆・毛筆)、絵画、工作彫塑、技術・家庭科の作品を展示します。 お問合せ:教育センター(Tel.0574-28-3255)
12/ 1(土) 13:30～15:30	わくわくドキドキ 科学の広場	エントランス ホール	無料	—	科学等の楽しさを体験します。 お問合せ:教育センター(Tel.0574-28-3255)
12/15(土) 14:00～15:00	第189回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「むすびびと」より数篇 一条 真也/編 「百合子姫」北村 薫/作 「怪奇毒吐き女」北村 薫/作 「お江戸に咲いた灼熱の花」三浦 しをん/作 「ダーリンは演技派」三浦 しをん/作 『秘密。』(私と私のあいだの十二話)より 「いろはに・こんべいとう」 原田 マノ/作 『独立記念日』より

四季を食べる講座

minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。【持ち物:エプロン、三角巾】

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
9/23(日) 10:00～13:00	栗おこわ	秋と言えば・・・栗! 栗が大好きな人、集まってください。	当日受付 (30分前より)	生活体験館	500円	20名
10/ 2(火) 10:00～13:00	甘酒と麴漬け	美の素・麴で、簡単に甘酒、ちよっと頑張っ て漬物を作ってみましょう。	事前申込 [8/21(火)～9/11(火)]			
10/13(土) 10:00～14:00	特別講座 おひまちと こんびら講	形を変えつつも各地域で今もまだ残る "おひまち"と呼ばれる行事や、各種 の"講"。昔は夜通し起きて朝日を拝んだ "おひまち"と"こんびら講"を紹介しま す。	事前申込 (9/ 1(土)～9/15(土))			
11/18(日) 10:00～13:00	手作りこんにやく	ゴツゴツした芋から、プリンプリンのこ んにゃくができる不思議を体験。でき たては、こりやまた美味しい。	当日受付 (30分前より)			
12/ 4(火) 10:00～13:30	おせち料理と 小正月	やってみれば意外と簡単にできるお正 月のおせち料理と、その数日後の"小正 月"のごちそうも作りましょう。	事前申込 [10/23(火)～11/6(火)]			
2019. 1/20(日) 10:00～13:00	文化の森の 柿茶会	柿寺の称号もある蜂屋の"瑞林寺"で 毎年開催される柿茶会を、文化の森 バージョンで。	事前申込 [12/ 9(日)～12/23(日)]			

ていねいな暮らし講座

minokamo city museum

生活体験ボランティアと一緒に、昔のくらしを体験する講座です。まゆの家で、ゆったりのんびり過ごしてみませんか。

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
11/17(土) 9:30～13:00	秋を染める	秋の草木でTシャツを染めます。親子歓迎。 持ち物:白いTシャツ、エプロン、軽食 ※内容によっては延長する場合があります	当日受付 (30分前より)	生活体験館	100円	20名
12/15(土)～ 2019. 1/ 4(金)	年中行事 門松立て	かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立 てます。【自由観覧】	—		—	—



木立に響く逍遙 vol.9 「箏曲と笛の世界」

とき 10月17日(水) 18:00～19:30 (開場17:30)

会 場 エントランスホール

定 員 120名

入場料 500円
(全席自由席)

文化の森にてチケットを
9/15(土)より販売いたします。
電話予約可(0574-28-1110)

お 話 坪内逍遙とお箏…濱口久仁子

曲 目 八橋検校作曲「六段調」
笛による抒情曲
中能島欣一作曲「秋静か」
山田検校作曲「那須野」 ほか

9回目となる「木立に響く逍遙」は箏の山登松さんと、笛の福原徹さんによるステージです。
秋の夜に響く和の共演をお楽しみください。

アートな一日講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
9/30(日) 13:00～16:00	陶芸	手びねりの技法またはろくろで簡単な 器を作ります。出来上がった作品は、後 日お渡します(送付の場合有料)。 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1,000円	20名
11/11(日) 13:00～16:00	水フェルトで 作るミニポーチ	石鹸水を使った本格的なフェルトの 技法を体験できます。2色の羊毛フェ ルトを使って小さなポーチを作ります。 (対象年齢:10才以上) 持ち物:エプロン、タオル	事前申込 [10/11(木)～10/28(日)]	工芸室	700円	8名